

電 力 情 報

NO. 70

平成20年12月26日
東 北 電 力 (株)

1 1 月 分 の 電 力 需 給 実 績 に つ い て

1 . 電 力 需 要 に つ い て (表 - 1 参 照)

11月分の販売電力量は、65億2,000万kWh、対前年比97.3%の実績となりました。これを用途別にみますと、以下のとおりです。

特定規模需要以外の需要 (自由化対象以外のお客さま)

電灯は、検針期間日数が前年より短かったことなどから、対前年比98.0%の実績となりました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比97.9%の実績となりました。

特定規模需要 (自由化対象のお客さま)

業務用電力は、対前年比99.5%とほぼ前年並みの実績となりました。

特定規模需要の合計では、対前年比97.0%の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

[参 考]

大口電力

大口電力は、「鉄鋼」「機械」などの業種において生産調整の影響があったことなどから、対前年比95.9%の実績となり、4年ぶりに前年実績を下回りました。

2. 供給力について（表 - 2 参照）

1 1 月の発受電電力量の合計は、7 3 億 6 , 0 0 0 万 k W h となり、対前年比 9 8 . 0 %、対計画比 9 8 . 6 % の実績となりました。

（自社水力）

上旬から中旬にかけて電源地点の降水量が少なかったことから、出水率 8 0 . 1 % の濁水となりました。

発電量は、停止電力量が少なかったことから、前年を 3 , 8 0 0 万 k W h 上回る 4 億 9 , 2 0 0 万 k W h となりました。

（自社火力）

需要の減少および原子力の発電量の増加などにより、発電量は前年を 6 , 7 0 0 万 k W h 下回る 4 1 億 3 , 6 0 0 万 k W h となりました。

（自社原子力）

女川原子力発電所 2 号機および 3 号機などの前年度との運転状況の違いにより、発電量は前年を 7 億 2 , 2 0 0 万 k W h 上回る 1 9 億 2 0 0 万 k W h となりました。

（他社受電）

他社火力の前年度との運転状況の違いなどにより、他社受電合計では前年を 4 億 4 , 5 0 0 万 k W h 下回る 1 6 億 7 , 2 0 0 万 k W h となりました。

以 上